

第76回 四国高等学校陸上競技対校選手権大会

兼 第76回全国高等学校陸上競技対校選手権大会四国地区予選会 実施要項



- 主催** 四国高等学校体育連盟・香川県教育委員会・四国陸上競技協会
後援 公益財団法人香川県スポーツ協会・丸亀市教育委員会・丸亀市スポーツ協会
主管 香川県高等学校体育連盟・一般財団法人香川陸上競技協会
- 1 期 日** 令和5年6月17日(土)～19日(月) 3日間 雨天決行
(1) 開会式 6月17日(土) 8時30分～ Pikaraスタジアム
(2) 競 技 6月17日(土)・18日(日)・19日(月) 10時～
- 2 会 場** Pikaraスタジアム(香川県立丸亀競技場)
〒763-0053 丸亀市金倉町 830 TEL.0877-21-5800
- 3 種 目** [男子]
100m・200m・400m・800m・1500m・5000m・110mH・400mH・3000mSC・5000mW・4×100mR
4×400mR・走高跳・棒高跳・走幅跳・三段跳・砲丸投・円盤投・ハンマー投・やり投・
八種競技(以上21種目)
[女子]
100m・200m・400m・800m・1500m・3000m・100mH・400mH・5000mW・4×100mR・
4×400mR・走高跳・棒高跳・走幅跳・三段跳・砲丸投・円盤投・ハンマー投・やり投・
七種競技(以上20種目)
- 4 競技規定** 2023年度日本陸上競技連盟競技規則による。
- 5 競技方法** (1) 学校対抗とする。
(2) 男・女別に合計得点によって学校順位を決定する。
(3) 各種目の得点は1位8点、2位7点……、8位1点とする。但し、混成競技については、総合得点のみに加える。
- 6 参加資格** (1) 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校(中等教育学校後期課程を含む)に在籍する生徒であること。但し、休学中、留学中の生徒を除く。
(2) 選手は、各県高等学校体育連盟に加盟している学校の生徒で、当該競技専門部への登録者であること。また、各県予選会で6位までに入賞した生徒であること。但し、競歩については5位、混成競技・女子棒高跳・女子三段跳・女子ハンマー投については4位までとする。(走高跳・男子棒高跳は6名、女子棒高跳は4名とする)
(3) 年齢は、平成16(2004)年4月2日以降に生まれたものとする。但し、出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。
(4) チームの編成において、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
(5) 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。
(6) 転校後6ヶ月未満のものは参加を認めない(外国人留学生もこれに準ずる)。但し、一家転住などやむを得ない場合は、各県高等学校体育連盟会長の認可があればこの限りでない。
(7) 出場する選手はあらかじめ健康診断を受け、在学する学校の校長及び所属する高等学校体育連盟会長の承認を必要とする。
(8) 参加資格の特例
ア 上記(1)(2)に定める生徒以外で、陸上競技要項により大会参加資格を満たすと判断され、都道府県高等学校体育連盟が推薦した生徒については、別途に定める規定に従い大会参加を認める。

イ 上記(3)の但し書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技3回までとする。

【大会参加資格の別途に定める規定】

- 1 学校教育法第72条、115条、124条及び134条の学校に在籍し、各県高等学校体育連盟の大会に参加を認められた生徒であること。
- 2 以下の条件を具備すること。
 - (1) 大会参加資格を認める条件
 - ア 四国高等学校体育連盟の目的を理解し、尊重すること。
 - イ 参加を希望する特別支援学校、高等専門学校、専修学校及び各種学校にあっては、学齢、修学年限ともに高等学校と一致していること。また、広域通信制連携校の生徒による混成は認めない。
 - ウ 各学校にあっては、各県高等学校体育連盟の予選会から出場が認められ、四国大会への出場条件が満たされていること。
 - エ 各学校にあっては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもとに適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失しておらず、運営が適切であること。
 - (2) 大会参加に際し守るべき条件
 - ア 四国高等学校選手権大会開催基準要項を遵守し、競技種目別大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
 - イ 大会参加に際しては、責任ある教員が引率するとともに、万一の事故の発生に備えて傷害保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。
 - ウ 大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。

7 引率・監督について

- (1) 引率責任者は、団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。個人の場合は校長の認める学校の職員とする。また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員（学校教育法施行規則第78条の2に示された者）も可とする。但し、当該県高体連会長に事前に届けること。
- (2) 監督、コーチ等は校長の認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険（スポーツ安全保険等）に必ず加入することを条件とする。
- (3) 但し、上記(1)(2)について各県における規定が定められ、引率・監督者がこの基準より限定された範囲内であれば、その規定に従うことを原則とする。

8 参加制限

- (1) 各種目県大会上位6位とする。但し、競歩は5位、混成競技・女子棒高跳・女子三段跳・女子ハンマー投は4位とする。（走高跳・男子棒高跳は6名、女子棒高跳は4名とする）
- (2) 参加者は、1種目1校3名以内とし、リレーは1校1チーム（6名以内）とする。
- (3) 同一人の出場は、リレーを除き3種目以内とする。
- (4) 外国人留学生については、1校男子4名、女子3名以内とし、1種目1校1名の出場とする（この種目にはリレーも含む）。但し、リレーに出場する場合には、個人種目と合わせて1校男子は最大4種目・女子は最大3種目とする。

9 参加申込

- (1) 申込期日 6月9日(金) 必着のこと。
(メールアドレスはできるだけ早くお送り下さい)
- (2) 申込場所 〒768-0068 香川県観音寺市天神町一丁目1-15 TEL(0875)25-3168
香川県立観音寺総合高等学校内 堀内雅人 宛 FAX(0875)25-3169
メールアドレス masahito-horiuchi@kansouh.ed.jp
- (3) 申込書類 ア 学校長出場承認書【様式1】
イ 県予選会成績一覧表（決勝一覧表）
ウ 県予選会のプログラム（記録記入済）[プログラムと記録集でも可]

エ 参加料・プログラム代納入明細書【様式2】

オ 宿泊申込書【様式3】

カ 参加料プログラム代金一覧表(申込1)《郵送とメール》

キ 申込用ファイル(申込2)《メール》

※ ア・エ・オは各校監督が作成し、イ・ウ・カ・キは各県専門委員長が確認・作成のうえ、各県一括して申し込むこと。(カのデータはメールでも送ること)

但し、アについては、所属高体連事務局に1部提出のこと。

(4) 参加申込後の棄権については、納入した参加料の払い戻しはしない。

※ 大会参加に際して提供される個人情報、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはない。

10 参加料 1人 1,600円(申込みと同時に一括納入のこと)

11 表彰 (1) 男・女とも総合優勝校は優勝杯(持ち回り)と賞状を授与する。
(2) 男・女とも総合・トラック・フィールドの1・2・3位校には賞状を授与する。
(3) 男・女とも各種目1位には賞状及びメダルを、2・3位には賞状を授与する。

12 宿泊 (1) 選手、監督及び大会役員の宿舎は、開催県の競技種目専門部が準備し配宿する。
(2) 宿泊料は、1泊2食で9,075円(税込)とする。
但し、弁当を申し込んだ場合は、弁当料金700円(税込)を別途支払う。
(3) 宿泊は所定の申込用紙に必要事項を記入し、参加申込と同時に申し込むこと。

13 監督会議 (1) 6月16日(金) 14:30からPikaraスタジアム第2会議室で行う。
(2) 各県代表3名参加のこと。

14 日程 別紙のとおり
【開会式】6月17日(土) 8時30分～
【閉会式】6月19日(月) 競技終了後

15 全国大会参加資格

本大会6位までの入賞者は全国大会に出場できる。但し、競歩は5位、女子棒高跳・女子三段跳・女子ハンマー投は4位、混成競技については本大会3位までと本大会において4～6位入賞者の成績が各ブロックの3位を除く全国の上位5位以内に入った者とする。
(走高跳・男子棒高跳は6名、女子棒高跳は4名とする)

16 連絡事項 (1) アスリートビブスは各県で準備のこと。各県の番号は次のとおりとし、男子は黒字、女子は赤字とする。

【香川県1～200 徳島県201～400 高知県401～600 愛媛県601～800】

(2) 各学校へのプログラム無料配布はしない。
(3) 参加選手は、健康保険証を持参すること。
(4) 競技中の疾病については主催者で応急処置をするが、他は責任を負わない。
(5) 棒高跳のポールを送付する場合は、下記あてに送付すること。

Pikaraスタジアム(香川県立丸亀競技場)
〒763-0053 丸亀市金倉町 830 Tel.0877-21-5800

17 その他 (1) 新型コロナウイルス感染症対策については関係する省庁、自治体、競技団体が定めるガイドラインに従うものとする。
(2) 主催者は当該競技会に関わる全ての人の、新型コロナウイルス感染に対するいかなる責任も負わない。
(3) WRK対象種目は男子八種競技とリレー以外の全種目とする。

令和5年度四国高等学校陸上競技対校選手権大会 競技順序

| 第1日目【17日(土)】 | 第2日目【18日(日)】 | 第3日目【19日(月)】 |
|-----------------------------|------------------------------|---------------------------|
| <トラック> | <トラック> | <トラック> |
| 開会式8:30~ | | |
| 1 10:00 女 7種100mH (2組) | 1 10:00 男 8種100m (2組) | 1 10:00 男 8種110mH (2組) |
| 2 10:15 男 110mH 予(3組2着+2) | 2 10:10 女 800m 予(3組2着+2) | 2 10:20 女 100mH 予(3組2着+2) |
| 3 10:40 男 400m 予(3組2着+2) | 3 10:30 男 800m 予(3組2着+2) | 3 10:40 男 200m 予(3組2着+2) |
| 4 11:00 女 400m 予(3組2着+2) | 4 10:50 女 400mH 予(3組2着+2) | 4 11:00 女 200m 予(3組2着+2) |
| 5 11:30 男 1500m 予(2組6着) | 5 11:10 男 400mH 予(3組2着+2) | 5 11:30 女 3000m 決 |
| 6 11:50 女 1500m 予(2組6着) | 6 11:30 男 3000mSC 予(2組6着) | 6 12:00 女 100mH 決 |
| 7 12:10 男 4×100mR 予(3組2着+2) | 7 12:10 女 100m 予(3組2着+2) | 7 12:20 男 200m 決 |
| 8 12:30 女 4×100mR 予(3組2着+2) | 8 12:30 男 100m 予(3組2着+2) | 8 12:30 女 200m 決 |
| 9 12:50 女 5000mW 決 | 9 13:10 女 400mH 決 | 9 12:50 男 5000m 決 |
| 10 13:50 男 110mH 決 | 10 13:20 男 400mH 決 | 10 14:10 男 8種1500m |
| 11 14:10 男 400m 決 | 11 13:40 女 800m 決 | 11 14:30 女 4×400mR 決 |
| 12 14:20 女 400m 決 | 12 13:50 男 800m 決 | 12 14:40 男 4×400mR 決 |
| 13 14:50 男 1500m 決 | 13 14:00 女 100m 決 | |
| 14 15:10 女 1500m 決 | 14 14:10 男 100m 決 | |
| 15 15:20 女 7種200m (2組) | 15 15:00 男 3000mSC 決 | |
| 16 15:30 男 5000mW 決 | 16 15:20 女 4×400mR 予(3組2着+2) | |
| 17 16:20 男 4×100mR 決 | 17 15:50 男 4×400mR 予(3組2着+2) | |
| 18 16:30 女 4×100mR 決 | 18 16:20 女 7種800m (2組) | |
| | 19 16:40 男 8種400m (2組) | |
| <フィールド> | <フィールド> | <フィールド> |
| 【 跳 躍 】 | 【 跳 躍 】 | 【 跳 躍 】 |
| 1 10:00 男 走幅跳 決 | 1 10:30 女 走高跳 決 | 1 10:00 女 三段跳 決 |
| 2 11:00 男 棒高跳 決 | 2 11:00 女 棒高跳 決 | 2 12:00 男 8種走高跳 |
| 3 11:00 女 7種走高跳 | 3 11:20 男 8種走幅跳 | 3 12:30 男 三段跳 決 |
| 4 13:30 女 走幅跳 決 | 4 13:00 女 7種走幅跳 | |
| | 5 14:00 男 走高跳 決 | |
| 【 投 て き 】 | 【 投 て き 】 | 【 投 て き 】 |
| 1 10:00 女 ハンマー投 決 | 1 10:00 男 円盤投 決 | 1 10:00 女 砲丸投 決 |
| 2 13:00 男 ハンマー投 決 | 2 12:30 女 やり投 決 | 2 10:40 男 8種やり投 |
| 3 13:20 女 7種砲丸投 | 3 13:00 男 8種砲丸投 | 3 12:30 男 やり投 決 |
| 4 15:30 女 円盤投 決 | 4 14:30 女 7種やり投 | |
| | 5 15:00 男 砲丸投 決 | |

第76回 四国高等学校陸上競技対校選手権大会

競技注意事項

(Pikara スタジアム 香川県立丸亀競技場)

1. 競技規則について

本大会は、2023年日本陸上競技連盟競技規則ならびに、本大会申し合わせ事項によって行う。

2. 練習について

- 練習は、指定された練習場所を使用、プログラム記載の「練習会場使用日程」に従い実施すること。
- 主競技場内での練習は競技役員の指示に従って行い、補助競技場については練習会場系の指示に従うこと。特に、投てき練習については、監督の付き添いのもと事故防止に努めること(選手のみでの練習は認めない)。
- 棒高跳の練習については、大会当日 9:00から主競技場内を使用することができる。
- 雨天練習場の使用について・・・シート等の使用により独占的な使用を絶対にしない。
 - 2～4レーンは第3ゲートから第2ゲートの同一方向走行とする。
 - 1、5レーンは周回のみとし、逆走は絶対にしない。
 - ハードルは使用できない。

3. 招集について

- 招集所は、第3ゲート内側に設ける。
- 招集完了時刻は競技時刻を基準とし、下記のとおりとする。

| 種目 | 予選 | | 決勝 | |
|---------------------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| | 招集開始 (点呼開始) | 招集完了 (移動開始) | 招集開始 (点呼開始) | 招集完了 (移動開始) |
| トラックの部 | 30分前 | 20分前 | 25分前 | 15分前 |
| フィールドの部 (棒高跳、ハンマー投を除く) | | | 50分前 | 40分前 |
| フィールドの部(棒高跳) | | | 60分前(現地招集) | |
| フィールドの部(ハンマー投) | | | 30分前(現地招集) | |
| 混成競技 | | | 20分前 | |

- 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を欠場したものとして処理する。
- 招集の手順
 - 競技者は、招集開始時刻に、招集所競技者控所で待機し、点呼を受ける。その際、競技者係にアスリートビブス・スパイク・衣類・持ち物等の確認を受ける。
 - 2種目を同時に兼ねて出場する(競技終了時刻と次種目の招集開始時刻が重なる)競技者は、あらかじめ本人または代理人が競技者係(招集所)に2種目同時届けを提出する。
 - リレー競技に出場するチームは、招集所でリレーオーダー用紙を受け取り、必要事項を記入し、その種目の競技開始時刻の1時間前までに競技者係(招集所)に提出すること。また、次のラウンドにおいても予選に進んで行うこと。
 - 欠場する場合は、招集開始時刻までに競技者係(招集所)に欠場届を必ず提出すること。
 - 混成競技は、第1日目・第2日目とも第1種目は競技者係が招集所にて招集するが、それ以降の種目については、混成競技係が混成競技控え場所で点呼・確認後、各競技場所に誘導し、担当審判員に引き継ぐ。(混成競技控え場所は「メインスタンド1F 第2南トレーニングルーム」とする。)
 - 競技者控所は、当該種目の競技者以外の立ち入りを禁止する。
 - 棒高跳の点呼は競技場で行い、点呼後は公式練習に入る。公式練習は3回に分けて実施する。
 - ハンマー投の点呼は競技場で行い、点呼後は公式練習に入る。公式練習は2回に分けて実施する。

4. 競技について

- 競技者は、当該種目以外グランド(競技区域)内に立ち入ることはできない。
- 短距離種目では、競技者の安全確保のためフィニッシュライン通過後も自分のレーン(曲走路)を走ること。
- トラック競技において、欠場者がでた場合はそのレーンを空けて行う。
- トラック競技(セパレート種目)において、8名(8チーム)以内の場合は2～9レーン、9名(9チーム)の場合は1～9レーンで行う。
- トラック競技の計測は、全て写真判定装置(全自動電気時計 1/100)で行う。
- 4×100m リレーの第2・第3・第4走者は、主催者が用意するマーカー(1カ所)を使用することができる。そのマ

ーカー以外は使用してはならない。

- (7) 4×400mリレーの第3・第4走者のバトンの受け渡しは、コーナートップ順に内側より並ぶこと。コーナートップとは、第3コーナー内側に示された黄色旗を通過した時点のことである。この後は、並んだ順序を変えてはならない。なお、次走者は、テークオーバーゾーンの内側より走り出さなければならない。
- (8) 跳躍・やり投の競技者は、助走路の外側に主催者が用意したマークを、2カ所置くことができる。マークはそれぞれの審判員が現地で渡す。それ以外は使用してはならない。
- (9) 三段跳の踏切板は、男子は11m、女子は10m地点に設置する。
- (10) 携帯電話等の通信機器、ビデオ・デジタルカメラ等を競技場内に持ち込むことはできない。
- (11) 競技中に起きた競技者の行為または順位に関する抗議は、規則第146条に基づき、正式に結果が発表されてから30分以内に、同一日に次のラウンドが行なわれる種目では15分以内に、当該競技者自身または、顧問が口頭で審判長に申し出ること。
- (12) スタートについては、2023年度ルールに準ずる。

5. 競技用シューズについて

スパイクの長さは9mmをこえてはならない。また、走高跳およびやり投の場合は12mmをこえてはならない。これらのスパイクの直径は、先端が4mm以内でなければならない。また、スパイクの数は11本以内であれば何本でもよい。

シューズの靴底(ソール)の厚さについて(TR5.2 TR5.13)

- a シューズとは、スパイク、ランニングシューズを含むものである。
- b トラック種目について、800m未満の種目(ハードル種目、4×100mR、4×400mRを含む)は20mm以下、800m以上の種目(障害物競走を含む)は25mm以下とする。ただし、競歩については40mm以下とする。
- c フィールド種目について、三段跳以外の種目は20mm以下、三段跳は25mm以下とする。また、シューズ前部の中心点のソール厚さは、シューズかかと部の中心点のソール厚さを超えてはならない。
※日本陸連競技規則に準ずる。

6. アスリートビブスについて

アスリートビブスは指定された大きさ(縦16cm×横24cm)で、ユニフォームの胸部と背部に付けること。その際、折り曲げたり、汚したりしないこと。ただし、跳躍競技に出場する競技者は、胸部または背部だけでもよい。また、トラック競技者は、写真判定用の腰ナンバー標識を招集所で受け取り、パンツの左右後方に付けること。また、3000m以上の種目と4×400mリレーの第2・第3・第4走者、混成競技の最終種目については、主催者の用意したアスリートビブスを胸部に付けること。

7. 競技場の中に商品名のついた衣類・バッグ類を持ち込む場合について

陸上競技ルールブック 2023「競技会における広告および展示物に関する規定」の通りとする。

以下「抜粋」

〈アスリートキット〉

- (1) 競技用の衣類(トップス、ベスト、パンツ、レギンスなど)、ウォームアップ用の衣類、セレモニーキット、トラックスーツ、Tシャツ、スウェットシャツ、スウェットパンツ、レインジャケット、など

○ 上衣 下衣[それぞれ]

- ・製造会社名/ロゴ:1つ/1箇所 40cm²(高さ5cm)まで
 - ・スポンサー名/ロゴ:1つ/1箇所 40cm²(高さ5cm)まで
 - ・所属団体名/ロゴまたは学校名/ロゴ:[所属団体名/ロゴ]
- 上衣 前後各1箇所 *長さは問わないが、高さは前:5cm、後ろ:4cmまで
下衣 1箇所 *長さは問わないが、高さは5cmまで
[学校名/ロゴ]上衣・下衣 大きさの規制なし

- (2) 競技者が着用するあらゆるその他のアパレル(靴下、ヘッドギア、帽子、ヘッドバンド、手袋、アームバンド、メガネ、サングラス etc)

製造会社名/ロゴ:1つ/1箇所 6cm²(高さ3cm)まで
*メガネおよびサングラスについては、製造会社名/ロゴを2箇所掲出できる
所属団体名/ロゴまたは学校名/ロゴ:1つ/1箇所
[所属団体名/ロゴ] 6cm²まで
[学校名/ロゴ] 大きさの規制なし

〈個人の所有物及びアクセサリー〉

- (1) タオル・バッグ

- ・製造会社名/ロゴ:1つ/1箇所 40cm²(高さ5cm)まで
- ・スポンサー名/ロゴまたは競技者名/競技者個人のハッシュタグ:2つ2箇所 それぞれ40cm²(高さ5cm)まで

*バッグについては、スポンサー名／ロゴのうち1つ／1箇所を、次のいずれかに変更できる
 [所属団体名／ロゴ] 長さは問わないが、高さは5cmまで
 [学校名／ロゴ] 大きさの規制なし

(2) 飲料ボトル

・ドリンクの提供者、製造会社、および(または)スポンサー名／ロゴ:2つ／2箇所 それぞれ40cm³(高さ5cm)まで

*ペットボトルを持ち込む場合はラベルをはがすこと。

(6) 商標違反時の対応

着替えさせる(裏返しに着させる)・テープを貼って隠す。

8. 競技の抽選ならびに番組編成について

(1) 予選におけるトラック競技のレーン順、ならびに跳躍・投てき競技の試技順は、プログラム記載の左側に示された番号順とする。

(2) トラック競技の決勝ならびに跳躍・投てき競技の決勝については、主催者が公平に組み、レース順・試技順を決定する。その結果を記録掲示板に掲示する。

(3) リレーチームの編成メンバーは、どのラウンドにおいても、その競技会のリレーまたは、他の競技種目に申し込んでいる競技者であれば出場することができる。ただし、どのラウンドにおいても、出場するメンバーのうち、少なくとも2人は当該リレー種目に申し込んだメンバーでなければならない。最初のラウンドに出場した競技者は、その後のラウンドを通して、2人以内に限り、他の競技者と交代することができる。

また、リレー競技に出場するチームは、同一デザインのユニフォームで参加しなければならない。

(4) トラック競技においてプラス出場者を決める場合、その最下位で同成績(判定写真を拡大し、細部まで読み取り着差を判定し、着差がない。)がでた場合は、下記の方法で決定する。

① 100m・200m・400m・800m・100mH・110mH・400mH・4×100mR・4×400mR 競技の場合

同成績者については、次のラウンドへ進むことができる。レーンに余裕のない場合は、同成績者または、代理人によって抽選する。

② ①以外の種目の場合

同成績者については、すべて次のラウンドに進めることとする。

9. 競技用具について

(1) 競技に使用する用具はすべて主催者が用意した物を使用しなければならない。但し、棒高跳用ポールに限り個人所有の物を使用することができる。ポールの検査は点呼時に跳躍審判員が行う。投てき用具については、競技場に準備されていない型番に限り検査を実施し、使用を認める。持ち込みを希望する者は、当日招集開始1時間前までに、用具を第1ゲート用器具庫に持参すること。検査に合格した用具は、参加競技者で共有できるものとする。競技終了後に第1ゲート用器具庫で返却する。

(2) 練習用として個人の用具は主競技場に持ち込んではいならない。

10. 走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方

| | | | | | | | | | | | |
|-----|----|--------------------|------|------|------|------|------|------|--------|------|---------|
| 走高跳 | 男子 | 1m70(練習) | 1m75 | 1m80 | 1m83 | 1m86 | 1m89 | 1m92 | 以降 3cm | | |
| | 女子 | 1m40(練習) | 1m45 | 1m50 | 1m53 | 1m56 | 1m59 | 1m62 | 以降 3cm | | |
| 棒高跳 | 男子 | 3m20、4m00、4m40(練習) | | | 3m30 | 3m50 | 3m70 | 3m90 | 4m00 | 4m10 | 以降 10cm |
| | 女子 | 1m90、2m50、2m80(練習) | | | 2m00 | 2m20 | 2m40 | 2m60 | 2m70 | 2m80 | 以降 10cm |
| | | 3m40(練習) | | | | | | | | | |

(1) 走高跳・棒高跳の決勝で最後の一人になり優勝者が決まるまで、上記のバーの上げ方とする。

(2) 第1位が同成績の場合、順位決定のためのバーの上げ下げは、走高跳では2cm、棒高跳では5cm 単位とする。なお、全国大会出場決定のための試技も行う場合がある。

11. 混成競技におけるバーの上げ方

走高跳のバーの上げ方は次の通りとする。但し、状況により変更する場合がある。設定より低い高さを希望する場合は練習開始前に申し出ること。(男子 1m50・女子 1m20 までは 5cm 単位でバーを上げる。)

| | | | | | | | | | |
|------|----------|------|------|------|------|------|------|--------|--|
| 男子8種 | 1m45(練習) | 1m50 | 1m53 | 1m56 | 1m59 | 1m62 | 1m65 | 以降 3cm | |
| 女子7種 | 1m15(練習) | 1m20 | 1m23 | 1m26 | 1m29 | 1m32 | 1m35 | 以降 3cm | |

12. 競技場の入退場について

(1) 競技者の入退場は、係員の指示に従うこと。

(2) フィールド競技の競技者は係員の指示に従って入退場する。但し、棒高跳およびハンマー投の選手は各自で入場する。

(3) フィールド競技の入賞者は当該審判員が、トラック競技の入賞者は係員が表彰者控え場所に誘導する。

13. 表彰およびインタビューについて

- (1) 各種目第3位までの入賞者はユニフォームまたはチームジャージで表彰式に出席すること(下半身はジャージ等が望ましい)。その際、入賞者は決勝終了後すぐに入賞者控え場所(メインスタンド1F正面玄関ロビー内)で待機し、係員の指示を受けること。
- (2) 入賞者のインタビューは、入賞者控え場所で行う。
- (3) 入賞者の得点は、1位8点、2位7点3位6点・・・8位1点とする。
- (4) 男子・女子それぞれ最優秀選手の表彰を行う。

14. その他

- (1) 大会期間中競技場で発生した傷害や疾病はメインスタンド1Fの医務室で応急処置を行うが、その後の責任は負わない。なお、参加者は健康保険証を持参すること。
- (2) 更衣は雨天練習場の更衣室を利用することができる。ただし、貴重品は各自で保管すること。
- (3) 記録証の交付を希望する競技者は、メインスタンド1F記録室の記録証交付係に記録証交付願及び交付料金500円を添えて申し込むこと。交付料金500円を添えて申し込むこと。
- (4) 記録は正面玄関2Fの記録掲示板に掲示する。
- (5) 競技場内でテントを張れる場所は観客席芝生スタンドとバックスタンド2F通路から上の通行の妨げにならない場所に限る。横断幕・部旗・のぼり等については、メインスタンドを除くバックスタンド2F通路より上、ただし、個人名入りの横断幕等は禁止する。
- (6) 集団での連呼応援は、全面禁止とする。
- (7) その他の詳細については事前監督会議で説明する。
- (8) 届け出用紙は以下の場所に用意してある。
2種目同時出場申請書・欠場届・リレーオーダー用紙・・・・・・招集所競技者控え場所
記録証明書交付願・・・・・・・・・・記録室

15. 練習会場使用日程

| | 6月16日(金) | 6月17日(土) | 6月18日(日) | 6月19日(月) |
|-----------------------|--|---|---|---|
| 主 競 技 場 | 11:00～17:00 トラック競技 跳躍競技 13:00～16:00 やり投 | 7:30～9:00 トラック競技 跳躍競技 9:00～9:30 女ハンマー投 12:00～12:30 男ハンマー投 | 7:30～9:00 トラック競技 跳躍競技 | 7:30～9:00 トラック競技 跳躍競技 |
| 補 助 競 技 場 | 11:00～17:00 トラック競技 跳躍競技 砲丸投 11:00～13:30 ハンマー投 13:30～16:00 円盤投 | 7:30～17:00 トラック競技 跳躍競技 砲丸投 10:00～12:00 男円盤投 12:00～14:50 女円盤投 15:00～17:00 やり投 | 7:30～17:00 トラック競技 跳躍競技 砲丸投 7:30～9:20 男円盤投 9:30～11:50 女やり投 14:00～16:00 男やり投 | 7:30～17:00 トラック競技 跳躍競技 砲丸投 8:00～11:50 男やり投 |

* 上記、補助競技場の投擲練習時間については、フィールド内の規制を行い、投擲練習を優先する。
審判員の指示に従い、全ての競技者は安全に留意すること。

(補助競技場・雨天練習場の使用について)

- ① 補助競技場の使用について(レーンの使用については以下の通りである。)
 - ・1～2レーンは、周回練習のみ使用可とする。但し、1レーンはトライアル、2レーンはジョグ練習とする。(集団ジョグは不可。)
 - ・3～6レーンは、短距離、リレー練習を優先する。
 - ・7～8レーンは、400mHを優先する(大会2日目まで)。

- ・テント等を設営しての独占的な使用をしない。

② 雨天練習場の使用について

- ・ピストルの使用は禁止する。

- ・シート等を敷いて独占的な使用をすることを絶対にしない。

- ・ウォーキング・ジョギングなどペースが著しく遅いウォーミングアップまたは、動きづくり程度の練習は行ってもよい。
それ以外は補助競技場で行うこと。

- ・2～4レーンは第3ゲートから第2ゲートへの同一方向走行とする。

- ・1、5レーンを周回のみとし、逆走は絶対にしないこと。

- ・ハードル・スターティングブロックは使用できない